

白河厚生総合病院（施設見学と研修医との交流）



< 前原院長先生 >

◇地域医療の現状と病院の概要についての院長講話の後、総合診療医から総合診療アカデミーの取り組みを伺いました。院内を見学後、2グループに別れ、それぞれ3名の初期臨床研修医を囲み、交流を行いました。臨床研修医として現在の生活について感じていること、学生時代にやっておくべきことなど、細やかにお話を伺うことができ、参考となるアドバイスを頂くことができました。



< 学生アンケートより >

- ★病院がきれいだったこと、病院の方が、自分の病院や白河のことが好きだということが伝わってきたことが印象に残った。
- ★初期研修医システムの話聞き、自分のスキルアップのために必要なことかなと思った。
- ★白河厚生病院は地域総合医療に力を入れていて、総合医療を学ぶならここだと思いました。



< 初期研修医との交流 >

日時 7月25日(水) 13:30~16:30

場所 白河厚生総合病院

白河地域在宅医療拠点センター（在宅医療の理解）



〈穂積 彰一先生〉

◇白河地域の在宅医療の中心的役割を担う穂積彰一医師より、在宅医療拠点センターの立ち上げの経緯と、在宅医療をとりまく現状・医師不足の課題など、熱意のこもった講話を頂きました。後半は、在宅医療の現場で働くケアマネージャーから地域ケア会議についての説明を受けた後、事例検討を行いました。



〈事例検討〉



〈学生アンケートより〉

- ★看取りについて、今まで深く考えたことがなかったので、良い機会になった。様々な看取り方があることを改めて知った。本当にためになる医話だった。
- ★医療と介護職をつなぐケアマネ、入院と在宅をつなぐ市町村など、医療が様々な職種の方とつながってできていることを改めて理解できた。

日時：7月26日（木）9：00～11：20

場所：白河地域在宅医療拠点センター

1歳6か月児健康診査（母子との交流）



- ◇1歳6か月児健診では、来所した母子と一緒に、医師の診察や健診の会場を回りながらコミュニケーションをとることができました。
- ◇終了後、小児科医師より、地域医療に永年携わってきた中での思いや心構え、今の母親との接し方のポイント、さらに医師を志したきっかけなど興味深いお話を伺いました。

<学生アンケートより>

★こんなにいっぱい子供を見たのは初めてで少しびっくりしてしまいました。子供だけではなくお母さんのケアも大切だと思うほどお母さんは大変だと思いました。



<三浦先生>

<学生アンケートより>

- ★小児科は総合診療だということ、子供の様々な疾患を総合的に見る必要があるということがわかった。
- ★小児科のやりがいについて、たくさんお話を聞いて、よかった。

日時 7月26日（木）12：20～15：00

場所 中央保健センター

高齢者サロン（高齢者との交流）

◇地域の高齢者サポーターが中心に運営している「いきいきサロン緑ヶ丘」に参加し、血圧測定や問診を行い、高齢者と会話すると共に、筋力アップの運動などを通して、楽しく交流しました。



<学生アンケートより>

- ★高齢者の引きこもりや、認知症を防ぐために、市民ボランティアが協力し努力なさっていることが分かった。
- ★高齢者がいきいきと過ごせる環境づくりが大切だと思った。
- ★いきいきサロンの皆さんから、すごく元気を頂いた。血圧測定では必要な情報を聞き出す難しさを学んだ。

日時：7月27日（金）9：00～11：00

場所 緑ヶ丘集会所